

手塚たかひろ

議会報告

NO16 2014年7月5日

連絡先 枚方市禁野本町 1-5-15 106

Tel・Fax 072 - 849-1545

自宅 枚方市宮之下町 13-12

携帯 080-1509-0706

ブログ <http://ameblo.jp/shiminnokai-tezuka-t/>

HP <http://www.tezukatakahiro.info/>



六月十二日から六月二十六日まで、市議会が開かれました。私は二十四日に、「総合文化施設について」「美術館について」「生涯学習市民センターと図書館の在り方について」質問し、大飯原発再稼働反対を国や閣電に申し入れすべきだと市長に要望しました。

「福井地裁判決を重く受け止め、大飯原子力発電所の再稼働中止を求める意見書」は、賛成五（手塚・堀井・共産3）で否決「集团的自衛権の行使を容認する解釈改憲を行わないこと」を求める意見書は、賛成十四（手塚・共産3・民主9）で否決されました。安倍内閣の閣議決定での憲法破壊に抗議します。

香里ヶ丘中央公園への美術館の受け入れへ向けての 予算計上は拙速 一般会計補正予算案に反対討論

6月26日に、一般会計補正予算案が提案されました。1億6755万6000円増額補正の内 美術館準備経費128万7000円（審議委員報酬34万2000円 旅費22万円 消耗品10万円 修繕費50万円 通信費10万円 保険料7万5000円）債務負担行為として寄贈作品図録作成等経費262万円が提案されました。結果は、反対4（手塚・共産3） 棄権2（千葉・田口） 賛成27で可決しました。市民の声を反映させる取り組みを続けます。

手塚の反対討論要旨です。（会派の意見しか掲載しない決まりだと、市議会報には掲載されない）

負担金付美術館の寄贈受け入れは、まだ、市民の納得を得られていない。市民への事前説明をあえてせずに、市民を軽視した香里ヶ丘中央公園への美術館建設受け入れ、地元をはじめ多くの市民が怒っている。補正予算計上の見送りや計画の白紙撤回や見直しなどの10数件の要望が議会に届いている。また、香里団地香陽自治会の「香里ヶ丘中央公園内に美術館を建設することを再検討し白紙に戻すことを求める」署名は、当初の1072筆をはるかにこえ、昨日で3652筆、現在も増え続けている。

市は「一定 意見集約ができた」と市民説明会を打ち切る方針を出した。

「地域住民への情報提供に関して不満の声を真摯に受けとめる」。市長は「今後は、丁寧に情報提供を行う」と言った。説明会の打ち切りをしてはならない。住民の方々との丁寧な話を続け、白紙に戻すことも含めた再検討が必要だ。地元の理解が得られるまで、事業を凍結すべきだ。何が何でも来年中の開館を目指すやり方には反対だ。

事業計画も遅れ気味だ。何も、この時期に補正予算を組む必要はない。8月の総務委員協議会に詳細説明を行うとの事、少なくとも、それまで地元の方をはじめ市民の皆さんへの丁寧な説明と協議を続け、次回、定例会以後の補正予算提出でも、十分だ。補正予算案に反対だ。

* 議員報酬・期末手当の手取りの半額を法務局に供託しています

* 政務活動費は受け取っていません